

令和4年度 西日本学生体操選手権大会各支部男子出場資格人数

西日本学生体操競技選手権大会における男子の出場人数については2019年（令和1年）より参加総数を180名になるように各支部の割り当て人数を決定した。

その結果2022年度（令和4年）の割り当て大学及び個人人数は以下の通りになる。

団体出場数18チーム

2019（東・北） 九州4 関西8 東海・北信越6 計18大学

2020（関西） 九州4 関西9 東海・北信越5 計18大学

2021（九州） 九州5 関西8 東海・北信越5 計18大学

2022（東・北） 九州4 関西8 東海・北信越6 計18大学

2023（関西） 九州4 関西9 東海・北信越5 計18大学

個人出場選手72名の内訳

総数180名から18大学（6人×18チーム）108名を除くと、残り（72名）が個人出場となる。

個人枠に関しては、2019年度から各支部に一組分の6名を振り分け（計18名）、残り8名を関西と東海・北信越に比例配分して関西5名と東海・北信越3名とした。また、1部校の個人出場枠は4名、2部校の個人出場枠は2名とすると、団体出場校以外の個人出場枠は2019年では26名（関西11名、東海・北信越9名、九州6名）であった。（2020年中止、2021年中止）

2022年度は、個人枠に関して2021年度に1部校が2校増えたものの各支部の1部校数が2019年に実施した出場枠と同等となり2019年度に実施したチーム出場校および個人枠をそのまま採用する。

作成時の運用の中に、一部校の入れ替えがあっても各支部の団体数の割り当ては変更せずに、個人出場枠で調整する。なお、各支部競技会後の確認で個人出場者が定数に満たない場合は返上となり、他の地区の人数に加える。

参考

2019年 西日本学生体操選手権大会 男子出場枠					
九州		関西		東海・北信越	
鹿屋体育大	10名	大阪体育大	10名	静岡産業大	10名
福岡大	10名	2部7校	56名	2部5校	40名
九州共立大	10名	個人出場	11名	個人出場	9名
2部1校	8名				
個人出場	6名				
	計44		計77		計59

2020年中止

2021年中止

2022年 西日本学生体操選手権大会 男子出場枠					
九州		関西		東海・北信越	
鹿屋体育大	10名	大阪体育大	10名	静岡産業大	10名
九州共立大	10名	2部7校	56名	2部5校	40名
福岡大	10名	個人出場	11名	個人出場	9名
2部1校	8名				
個人出場	6名				
	計44		計77		計59